

令和5年度 湯梨浜町立湯梨浜中学校 学校経営方針

1 校訓

『三智創造』

- ・湯梨浜中学校に特色ある三つの地域の人材が集い、ともに学び、創造性豊かな人間形成をめざし、未来を見据え、「開智・仁智・叡智」を修めた人材が新たな智を創造する。

2 教育目標

- (1) 知育・徳育・体育の向上をめざし、未来を切り拓くたくましさを身につけた生徒の育成
- (2) 人権を尊重し、人と人とのつながりを大切にし、思いやりのある心豊かな生徒の育成
- (3) ふるさとに関心を持ち、ふるさとを愛し、地域社会に貢献しようとする生徒の育成

3 めざす学校像

「湯梨浜中学校で学び、生活できたことを誇りに思える学校」

- (1) 生徒が日々成長でき、明日も学校に行きたいと思える学校
- (2) 教職員が充実感をもって働ける学校
- (3) 保護者から信頼され、地域とともにある学校

4 めざす生徒像

- (1) **【立志】**高い志を立て、その実現のためにもともに学び合い、未来を創り出そうとする生徒
- (2) **【親愛】**自らよりよい人間関係を築き、思いやりを持ち、ともに伸びようとする生徒
- (3) **【創造】**夢や目標に向かって自ら課題を発見し、粘り強く取り組み、課題を追求しようとする生徒
- (4) **【郷土愛】**ふるさとを愛し、地域社会の発展に貢献しようとする生徒

5 本年度の重点目標

(1) 自ら主体的に学習に取り組む力を高める

- ①主体的な学習活動を促進し、協同学習の理念を活かしてともに学ぶ態度を育む。
- ②学習規律を徹底し、自ら授業を改善する学習集団を育てる。
- ③目標の自覚と客観的な自己認識を深め、他の生徒や教職員、種々のメディアを活用させながら自己の学びを調整する力を育む。

(2) 日々の体験をとおして温かな人間関係を築き、自己有用感と自治的能力を高める。

- ①学校教育全体を通じた人権教育を実践し、想像力と共感性を伸ばし、個の特性を認め、多くの人の立場で考え、自他共に大切にしようとする態度を養う。
- ②生徒会活動や短学活を活かし、自己や集団を振り返り、改善しようとする態度を養う。
- ③集団や地域に貢献できる活動に取り組みせ、自己有用感を高める。

(3) 教育上の諸課題について、保護者や専門機関、地域との連携を深め、解決を図る。

- ①長期欠席防止や特別支援教育推進において、保護者や小学校、地域との連携や、教育相談員・SC・専門機関等との連携を充実させ、推進者を中心に組織的で機敏な対応をする。
- ②郷土芸能など地域の教育的資源を生かし、誇りと自信につなげる。

【具体的な取り組み】

○学習指導の充実

- (1) 協同学習の理念を活かし、授業改善を図りながら生徒の学びに向かう態度を育てる。
- (2) 課題や宿題を工夫し家庭学習の習慣化を図り、基礎・基本の確実な定着に努める。
- (3) 個々の生徒の実態を捉え、長期的な視点で適切な進路指導に努める。

○人権教育の推進

- (1) 「自分の大切さ」とともに「他の人の大切さ」を認めることができる態度を養う。
- (2) 日常生活での偏見やいじめ、差別や人権侵害等を具体的に引き上げて指導し、解消することの大切さとその方法を考えさせる。
- (3) あらゆる機会に想像力と共感性を高める指導を行い、お互いの立場や気持ちを大切に、認め合い支え合い高め合う温かな人間関係づくりを進める。
- (4) P T Aや地域との連携を深め、様々な人権課題解消の推進を図る。

○道徳教育の推進・文化的環境の充実

- (1) 人権教育との関連を図りながら日常における道徳的実践力を高め、豊かに生きる力を育む。
- (2) 全教職員の関わりを積極的に進め、多様な価値観に触れながら考える活動を進める。
- (3) 委員会活動やボランティア活動に積極的に取り組み、生活環境の美化・整備に努める。

○特別支援教育の充実

- (1) 特別支援教育に対する正しい理解と認識を深め、校内支援体制の充実を図る。
- (2) 進路選択を視野に、一人一人の能力を伸ばす学習指導の工夫・改善と充実に努める。

○学年・学級経営の充実

- (1) 「ともに伸びる精神」を大切に、認め合い支え合い高め合う学級・学年づくりをめざす。
- (2) 育てたい資質・能力を明確にもち、意図的な仕掛けを工夫する。
- (3) 教職員間の共通理解を大切に、生徒の実態や取り組みを語り合える教師集団をめざす。
- (4) 積極的な情報発信を行い、開かれた学級・学年づくりに努める。

○生徒指導の充実

- (1) 一人一人に応じたきめ細かな指導を心がけるとともに、集団としての成長を図る。
- (2) 教育相談や個別指導を充実させて生徒理解を進めるとともに、情報の共有に努める。
- (3) 生徒との活動時間を大切にして行動（活動）の変容を見取り、適切な評価に努める。
- (4) 基本的生活習慣の定着をめざして継続的な指導に心がけ、生活力の向上を図る。
- (5) 日頃から些細なことでも情報交換を行い、適切な対策の検討と素早い対応を行う。
- (6) 保護者との連絡をこまめに行い、信頼関係の確立に努める。

○健康と体力の増進

- (1) 健康教育を推進し、自己理解を進め、心身ともにたくましく生き抜く力を育てる。
- (2) 異学年の望ましいつながりを深めるよう学校行事や部活動の充実を図る。
- (3) 給食活動を充実させ、食育の推進に努める。

○特別活動の充実

- (1) 生徒会活動の活性化を図り、生徒の自主性や発想力を活かした活動を推進する。
- (2) 図書館教育を充実させ、本に親しみ自ら進んで読書に取り組める生徒を育成する。
- (3) キャリア教育の充実に努め、個々に応じた進路指導の充実を図る。

○小・中連携、保護者・地域社会との連携

- (1) 小中連携を校務分掌に位置づけ、9年間の成長を視野に入れた教育活動を展開する。
- (2) 参観日・学校公開、ホームページ、学校だより等を活用し、教育活動の公開を行う。
- (3) 地域の行事や活動に進んで参加し、地域に貢献できる生徒の育成に努める。
- (4) 福祉体験学習やボランティア活動等に積極的に参加し、地域交流を推進する。
- (5) 伝統文化の保存・継承や、地域行事への参加をとおして地域貢献を果たす。

○今日的な課題への対応

- (1) 情報教育を推進しタブレット端末を生かした学習指導の研究と実践を進める。
- (2) 教職員の世代交代を見据え、温かみのある人間関係の中でともに学び成長する職員集団となる。